



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ

●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023

6月26日



第3667回例会

望月年度最終例会



●ロータリーソング●



ソングリーダー
杉本忠重君

●ゲスト紹介●

青少年学友 (16-17年度青少年交換学生)
バレンティナー・シュランツさん

米山学友 (21-23年度米山奨学生)

ジョセリン・ネオ・ワンティンさん

米山奨学生ソリマン・ゼヤド・アイマン・アブ
ダラ・アブエルフェトさん

静岡サレジオ高等学校インターアクト顧問

吉川牧人さん、教諭山田邦彦さん

静岡ローターアクトクラブから7名のみなさん

● 会 長 挨 拶 ●

会長 望月啓行君

みなさんこんばんは。今回がいよいよ最後の会長挨拶になります。本年度のロータリーのテーマは「イマジン・ロータリー」でした。ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」「やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ、イマジン・ロータリーがテーマとなります」と呼びかけました。その言葉をうけて、各クラブは具体的にどのようなことを、そして私達静岡ロータリークラブは何をイマジンして行動すべきなのか、私は会長エレクトの時に色々と考えさせられました。そして2022年5月30日の例会の次年度方針発表を次のようにしました。まず一年のロータリーライフを通じ、みなさまに「なぜロータリーにはいったのか、なぜロータリーを続けているか」その価値の再確認をしていただけるようにすること、またひとりでも多くの会員が静岡ロータリーの「価値」「面白さ」「可能性」をイマジンできるようにする事です。そのために、ロータリーという組織の「奥深さ」・様々な「ツール」と静岡ロータリー会員100人の個性を掛け合わせると「どんな価値が生まれるのか?」「どんな可能性がイマジンできるのか?」これをぜひ一年かけてみなさんと探求し「メンバーひとり一人のロータリー価値のUP」「より魅力ある静岡ロータリー」を通し静岡ロータリーの次なる飛躍に繋げていきたいと話しました。この目標に向け『組織価値』『親睦』『奉仕』『例会』『運営』の側面からそれぞ

れに目標をたてました。ここで会長エレクトの時の次年度方針発表の資料を少しふり返らせてください。(スライド)それぞれの項目合わせると50個以上の具体的な行動目標を立てました。今ふり返るとできたのは7割方くらいですね。中でも私が最も重点を置いた目標は3つです。まずは「すべての例会を『価値』があり『楽しい』ものにする」ということ。やはり、1週間に一度、いそがしいみなさんが集まり、共に1時間を過ごすのですから、例会は必ず何かしらの価値があるもの、楽しいものにしなければならない。そのためには極力全ての例会を「テーマ」と「目的」があるものにし、最初の会長挨拶から後半の卓話まで、一貫したテーマを掘り下げていくようにする。そして、毎週あるとありがちですがただの「こなし」例会には絶対にしない、と考えていました。2つめは「会長挨拶はロータリーだけの話にしない」。皆さんも私もそうですが、それぞれの生活にはビジネスもあり、他の活動・プライベートもある。また会員それぞれにロータリーにおく比重はちがう。それなら、会長挨拶の時にロータリーだけの話をして、なかなか伝わらない事もあると考えました。一方、仕事やプライベート、ロータリーと関係ない話だけするのも避けました。なぜなら、ここはロータリーの集まりだからです。会長挨拶の組立として、極力他の活動とロータリー活動の接点にフォーカスし、そこを入り口としてロータリーの話を探り深掘りしていく、また毎週プレゼンテーションデータを作成するようにしました。その方が情報量も格段に増えますし、伝わり方も変わります。そして、3つめは「新しいチャレンジにみなさんと取り組む事により、静岡ロータリーの未来をイマジンでき

るようにする」こと、これが重点をおいたポイントでした。そのため、ほとんどすべての委員長には「何か新しいこと、静岡ロータリーが今までやってこなかった事」に、取り組んでいただきました。これは委員長のみなさんにアイデアをたくさん出していただきました。内容は、全部は紹介できませんが、ライブ感を意識する会場運営、国際奉仕はグローバル補助金事業へのチャレンジ、社会奉仕は合同奉仕事業、環境保全是ロータリーも新しく「環境」が重点分野になっているので、新しいサーキュラーエコノミーをテーマとした事業取組、青少年奉仕も静岡倶楽部科学賞をフォーカス、戦略計画のクラブビジョン作成、会員増強の招待例会、新会員の紹介冊子、グランピング絡めた親睦、新委員会の同好会委員会等他にもありますが、ほとんど全ての委員会に新しい取組をしていただきました。ここで、とりくんだ事業について写真で振り返ってみたいと思います。各委員会の新しいチャレンジの他にも、浅原ガバナー輩出年度ということで、地区大会、志田P Gの強力なリーダーシップで企画されたジェニファー・ジョーンズ会長トークセッション等毎年はないイベント運営にも取り組みました。また、バックオフィスの側面になりますが、SNS、フェイスブック運営にも力をいれました。こちらに、静岡ロータリーFacebookページのリーチ数・リアクション数のデータをグラフにしてまとめてありますが、ここ数ヶ月で非常にアクセスが増えています。投稿によっては1500以上のリーチがあります。また、ホームページも一新しました。これも9つのホームページ変更のコンセプトをつくり、その方向性に沿った形で、リニューアルを行いました。是非皆さん

もご覧下さい。また、今期の最初の時期はコロナの影響も残っていたので、例会ハイブリッドの安定配信のシステム構築も行いました。また、単年度制団体運営のネックになりがちな、アーカイブに関してもしっかり残し、後年の方々が利便性よく活用できるようにグーグルドライブの活用体制もつくりました。このように皆様と一緒にさまざまなトライアルを行った年でありました。まずは、活動を共にしていただいたそれぞれの委員長・そして委員会の皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。このように本年度取り組んだ多くのトライアルですが、私としてこの新しい体制をこれから後の年度に続けてもらいたい、継続してもらいたいということではありません。言い換えると、私の年度にトライアルした事が、この後一つも残らなくても構わないのです。目的ですが、最初の話に戻りますが、これらみんなで行ったこれらのトライアルを通して、静岡ロータリーの会員の皆さんが「なぜ、自分はロータリークラブにいるのか、続けているのか？」について、少しでも再認識ができること、また静岡ロータリークラブの大きな可能性に対し、ひとりでも多くの会員が「イマジン」してもらえるようにする事。静岡ロータリー、ロータリークラブって、本当にいろいろな事ができるんだな、と一人でも思っただけならば、みなさんと作ってきたこの一年は価値があったのではないかと考えています。最後になりますが、先日メルボルンで行われたロータリー国際大会に参加したとき、ジェニファー・ジョーンズ会長が国際大会での最後の挨拶として、このように言われました。「Imagine WHAT'S NEXT?」。本年度はこれで終わりになります。でも、また

次の価値あること、面白いことイマジンしていきましょう。私もこの言葉で最後の会長挨拶を締めさせていただきたいと思います。「Imagine WHAT'S NEXT?」一年間ありがとうございました。



2022-23年度
静岡ロータリークラブ
最終例会を迎えて

2023年6月26日
静岡ロータリークラブ 会長 望月啓行

本年度のテーマ

IMAGINE ロータリー

ジェニファージェームズ会長

価値してください。
私たちが目指すべき世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、
その世界に変化をもたらせると知っています。

やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。
だからこそ、イマジン・ロータリーが
テーマとなります

静岡ロータリーは
「何」をイマジン
していくか

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

静岡ロータリーの未来に向けての
「価値」「面白さ」「可能性」
をイマジン
「Imagine 静岡ロータリー」
次なる飛躍へ

2022-23 静岡ロータリー- 国際関係について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23 静岡ロータリー- 環境保全について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23 静岡ロータリー- 青少年について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23 静岡ロータリー- 職業について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23 静岡ロータリー- 社会について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23 静岡ロータリー- 国際関係について

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

個人的な重点目標

1. すべての例会を「価値」があり「楽しい」ものにする。
2. 会長挨拶はロータリーだけの話にしない。
3. 新しいチャレンジャーから、静岡ロータリーの未来をイマジンする。

多くの委員会で新しいチャレンジ 1

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

多くの委員会で新しいチャレンジ 2

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

静岡ロータリー- 環境保全委員会

2022年5月30日資料

2022年5月30日資料

2022-23
静岡ロータリークラブ
アクティビティ

「専任事業」 職業専任+青少年専任

静岡大学連携推進
静岡大学の取り組み。彼らの特色一つ特長を凝縮して学生達に学びの機会を提供。

「専任事業」 社会専任 静岡RC+静岡RAC+静岡IAC

静岡大学特別連携推進
実践学校秋祭りに参加し、イベントを主催する事により
・子供達に実体験
・子供達に外国の人との「ふれあい」を機会を提供している事業

「専任事業」 社会専任

三保海岸清掃事業
【合同清掃専任事業】
このエリアの「松」を守るためには落ちた松葉を清掃することが必要。三保の松原の海岸を清掃

「専任事業」 社会専任 静岡RC (ロータリー- 財団)

ポリオ根絶活動
世界の子供達を赤痢(赤痢)の脅威から守るための、警察- 警察活動。

青少年専任 新インターアクトクラブ設立

静岡サレジオ学園において、新インターアクトクラブ設立

青少年専任 青少年育成

静岡県東部 科学探究推進 ロータリークラブ発のプレゼンテーション

「奨学金事業」 青少年・国際専任 静岡RC

「アジアの国々との相互理解のための」留学- 研究のために日本に着陸している高校生を支援し、日本社会のロータリーがその機会を提供し、奨学金事業を実施する事業。静岡ロータリーもこの事業に参加しています

クラブ専任事業 親睦

「2022年9月26日 親睦月会」

クラブ専任事業 親睦

「2022年12月19日 クリスマス茶会」

親睦・職業専任委員会

農家の活用によるグリーン建築事業推進

職業専任 企業視察

「顧客の新しい姿の活用」

同好会活動再始動

環境保全委員会 視察

スズキバイナースプラウト見学

国際専任事業

タイ1315地区 RCサークルとのGGプロジェクト

グローバル補助金申請 GG2342583
新設民間国際センターと国際関係強化
での協定書- 協定書のサインのセレモニー

国際専任事業

タイ1315地区 RCサークルとの協賛に感謝

タイ1315地区 RACサークルとの協賛に感謝

国際専任事業

ワシントン・シニアフォーラムクラブ (0233)
シニアフォーラム

グローバル補助金申請 GG2344616
新設民間国際センターと国際関係強化
での協定書- 協定書のサインのセレモニー

●月●●日 八木義仁さん

【結婚記念日】

●月●●日 小林和則さん・佳子さん

●ス マ イ ル●

満席テーブル・・・久保田さんテーブル

佐々木達也君

静岡ロータリークラブの会員だったことを誇りに思います。ありがとうございました。

杉山僚君

伝統と格式のある静岡ロータリークラブへの入会の承認をありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

小林和則君

結婚記念日に素敵なフラワーアレンジメントをいただきました。結婚●●年ですが、かつて花を贈ったことあったかなあと思い返してみましたが、全く記憶がなく、私は反省し一方で、妻は綺麗な花に感動していました。本当にありがとうございました。

志田洪顯君

バースデーだそうです。忘れていました。まだ●●台です。まだまだ頑張ります。どうぞ、宜しくお願いします。

石川雅章君

新入会員の杉山さんをどうぞよろしく願いいたします。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
6/26	104(103)	53名	51名	51.45%

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！
なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い場合は全会員出席扱いとします。

●財団奨学生の近況報告●

静岡ロータリークラブから財団奨学生としてスイスに留学している大塚理央さんがZOOMで近況報告されました。昨年8月からジュネーブで人権保護や政府による人道介入などをテーマに勉強中とのこと。「各国の学生たちと交流し、議論できることが大変楽しいです。このような機会を与えていただいた静岡ロータリークラブに感謝いたします。残り一年の留学期間を存分に楽しみたいです」とコメントをいただきました。

●懇親会●

会長を務められた望月啓行君と幹事を務められた藤田博久君に感謝の意を込めた花束が贈呈された後、志田洪顯君の乾杯の音頭により懇親会が催され、出席した各委員会委員長が一年間の活動について挨拶されました。望月啓行君率いるDANCING WASABI BANDが80年代の洋楽を中心に演奏し、会場を大いに盛り上げました。